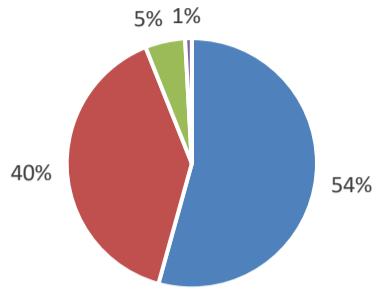


卒業時アンケート
(人間環境学部)

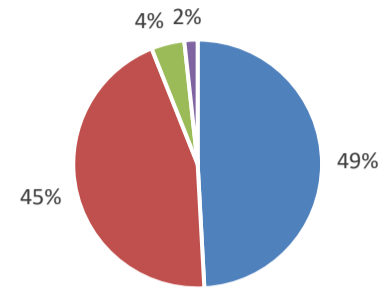
【実施日】 令和3年3月15日
【回収率】 116名/卒業生126名 (92%)

設問1: 個人・社会・自然が直面する課題に対して専門的な理解を深めることができましたか。



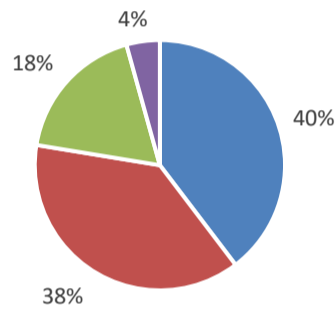
■ 十分できた ■ どちらかといえばできた
■ あまりできなかった ■ 全くできなかった

設問2: 学際的な柔軟性および実践的な能力が身につきましたか。



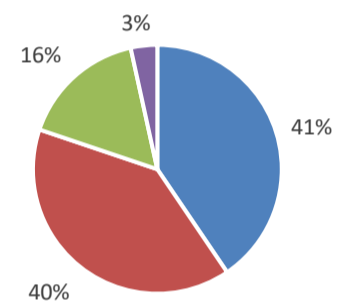
■ 十分身についた ■ どちらかといえば身についた
■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

設問3: グローバルな視野および国際社会に貢献できる力を得ることができましたか。



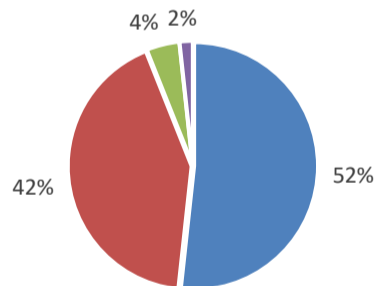
■ 十分できた ■ どちらかといえばそう思う
■ あまりできなかった ■ 全くできなかった

設問4: 企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力が身につきましたか。



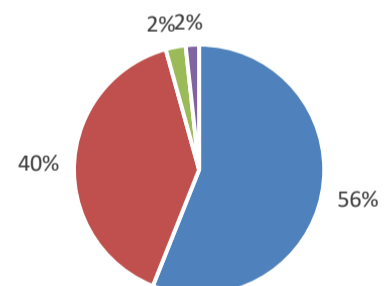
■ 十分身についた ■ どちらかといえば身についた
■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

設問5: 心理の課題あるいは環境問題における課題を深く理解し、分析して対応できる能力が身につきましたか。



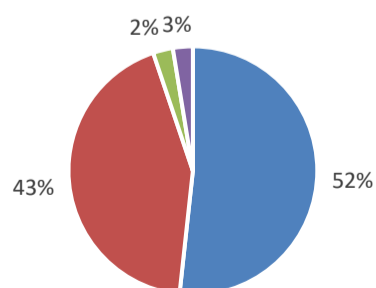
■ 十分身についた ■ どちらかといえば身についた
■ あまり身につかなかった ■ 全く身につかなかった

設問6: 大学4年間の課程を通じて、今の自分は成長したと感じますか。



■ 大きく成長した ■ どちらかといえば成長した
■ あまり成長できなかった ■ 全く成長できなかった

設問7: 大学4年間の教育課程は満足できるものでしたか。



■ 十分満足できた ■ どちらかといえば満足できた
■ あまり満足できなかった ■ 全く満足できなかった

令和3年度実施 人間環境大学人間環境学部 卒業時アンケート 結果の分析

【実施日】 令和3年3月15日

【回収率】 116名/卒業生126名（回収率：92%）

設問1「個人・社会・自然が直面する課題に対して専門的な理解を深めることができましたか。」、設問2「学際的な柔軟性および実践的な能力が身につきましたか。」、設問5「心理の課題あるいは環境問題における課題を深く理解し、分析して対応できる能力が身につきましたか。」については、「十分できた・身についた」「どちらかといえばできた・身についた」と回答した者はいずれも94%であった。この結果から、これらの能力を修得することのできる教育指導体制が十分に整っていると考えられる。

一方、設問3「グローバルな視野および国際社会に貢献できる力を得ることができましたか。」、設問4「企業・地域社会などのあらゆるコミュニティに寄与する組織的な活動能力が身につきましたか」に対し、「十分できた・身についた」「どちらかといえばできた・身についた」と回答した者は順に78%、81%であり、設問1、2、5に比べて評価がやや低かった。これらは4年間の学びを社会に活かすために重要な力であり、これらの力を伸ばすための具体的な取り組みが必要である。しかしながら、設問6「大学4年間の課程を通じて、今の自分は成長したと感じますか。」、設問7「大学4年間の教育課程は満足できるものでしたか。」に対し、「大きく成長した・大変満足できた」「どちらかといえば成長した・満足できた」と回答した者は95%を超えており、4年間の学びを通して、本学部の学生が求める「専門に対する理解・実践的な能力」を十分に身につけることができていると考えられる。